

2023年6月16日

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
2023年度事業計画書(補正)

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団
理事長 小笠原 三四郎

当財団の目的達成のため、定款第4条に定める事業を下記のとおり実施する。

記

I. 科学技術分野

1. 一般研究助成

1) 対象

高分子分野における、新素材、加工技術、新機能に関する研究課題

- ① 高分子の新規合成法、高分子新素材の開発
- ② 高分子の成形・加工技術
- ③ プラスチックを利用した新機能部品の開発
- ④ SDGs対応の高分子調製と活用

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

10月初旬、選考委員による選考委員会にて行う。

5) 決定時期

10月中旬～下旬、理事会で決定。

6) 予算額 12,000万円

2. インキュベンチャー助成

2015年度より新しい事業として、日本の成長戦略につながるような独創性に富んだ公益性の高い新製品・新技術のプロジェクトを推進するための助成。

1) 対象

- (1) 社会経済の健全な発展と国民生活の向上に資すると認められる公益性の高い優れた新製品・新技術(但し、医薬を除く)
- (2) 原則として3年最大5年以内に事業化可能なもの

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～6月30日

4) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

(第1次選考:10月初旬、第2次選考(プレゼン選考):11月初旬)

5) 決定時期

11月中旬～下旬、理事会で決定。

6) 予算額 12,000万円

3. 科学技術に関する国際交流活動等への助成

1) 対象

(1) 海外における国際的な学会・研究集会への研究発表のための出張助成

(2) 国内における国際的な学会・研究集会開催のための助成

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月28日～7月31日

4) 選考方法

選考委員による選考。

5) 決定

理事会で決定。

6) 予算額 1,000万円((1)集会等への参加等:500万円、(2)集会の開催:500万円))

4. 特定課題研究助成

1) 対象等

広く自然科学、社会科学の分野における主に学術的・社会的意義の大きい調査研究、学術交流等を対象。財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行うことを目的とした助成。

2) 募集、選考方法

随時案件受入、選考委員による選考。

3) 決定

理事会で決定。

4) 予算額 3,000万円

II. 文化・芸術分野

1. 調査・研究等への助成

1) 助成の目的

日本の現代美術の分野における「調査・研究」、「教育・普及」、「保存・修復・維持」等美術の担い手に対して助成し、現代美術の発展・普及を図ることを目的とする。

2) 対象

(1) 現代美術分野に関する調査・研究を行う個人、または研究グループ

また現代美術の創作活動を行う個人

(2) 日本の現代美術に関する調査・研究活動

① 現代美術史、現代美術作品の保存・修復・アーカイブ

② 現代美術を通じた教育・普及、現代美術の展示技術

③ アート・マネジメント、アーティストの環境改善など

(3) アーティストによる創作活動(AIR参加者も可)に係る調査・研究活動

*AIR(=アーティスト・イン・レジデンス)

アーティストが一定期間ある土地に滞在し、常時とは異なる文化環境で作品制作やリサーチ活動を行うこと。またはアーティストの滞在制作を支援する事業のことといいます。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月8日～10月13日

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定。

7) 予算額 5,000万円

2. 交流助成

1) 助成の目的

美術の分野における文化・芸術の担い手相互の交流活動を応援し、もって文化・芸術の振興を図ることを目的とする。

2) 対象

3年以上、文化・芸術分野等において専門的な職務に従事している者または同様の専門性が ありと認められる者(申請書から判断)。個人でも応募可。

・会議開催費用の一部支援助成 国内における会議の開催費用の一部を支援する。開催費用には旅費を含む。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

前期:2022年4月28日～6月9日まで募集

後期:2022年9月8日～2022年10月13日まで募集

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定

7) 予算額 1,000万円

前期:500万円、後期:500万円

3. 渡航・旅費等の助成

1) 助成の目的

美術の分野における文化・芸術の担い手が国外の研究会に参加し、あるいは展覧会業務やAIR参加等のために必要な渡航旅費、滞在費等を応援し、もって文化・芸術の振興を図ることを目的とします。

2) 対象

3年以上、文化・芸術分野等において専門的な職務に従事している者または同様の専門性が ありと認められる者(申請書から判断)。個人でも応募は可。

- ① 会議(研究会、ワークショップなど)へ参加するための渡航旅費、滞在費等
- ② 美術品の移動や展覧会業務又はそれに準じる業務に必要な学芸員等の渡航費、滞在費等

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

前期:2022年4月28日～6月9日まで募集

後期:2022年9月8日～2022年10月13日まで募集

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定

7) 予算額 2,000万円

前期:1,000万円、後期:1,000万円

4. 現代美術の翻訳助成

1) 助成の目的

現代美術に関する資料、アーティストファイル等の良質な英語翻訳を支援し、日本の現代美術の現状と多様性を広く海外へ紹介・周知することを目的とする。

2) 対象

現代美術分野で活動する非営利団体。(法人格は問いません)

日本の現代美術に関する日本語のテキストから英語への翻訳費用

- ① アーティストファイルやステートメントなど、アーティスト資料の翻訳に係る費用
- ② 作品に付随する字幕・解説(キャプション)の翻訳に係る費用
- ③ オンライン媒体も含みます。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月8日～10月13日

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定。

7) 予算額 1,000万円

5. 特定課題研究助成

1) 対象等

文化・芸術の分野を対象とし、財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行う助成。

2) 募集、選考方法

随時案件受入、選考委員による選考

3) 決定

理事会で決定

4) 予算額 500万円

6. 新型コロナウイルス等特別助成(現代美術分野)

1) 目的

新型コロナウイルス等の影響で、現代美術分野における新たな活動やプロジェクトに支障が起き、またその活動を継続するための支援を行うことで、新しい形態の創造や表現活動に取り組める環境整備に貢献することを目指します。

2) 対象

現代美術分野における活動をされている方

新型コロナウイルス等の影響で活動に何らかの被害を受けた個人、団体。団体の法人格は問わない。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

9月以降募集開始予定(新型コロナウイルス等、その他の状況に応じて判断)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定

理事会で決定。

7) 予算額 5,000万円

Ⅲ. 科学技術、文化・芸術分野採択者合同交流会の開催

1. 目的

科学技術と文化・芸術分野の熱き才能の交流により新たな発想とイノベーションの創出のきっかけとなる場を設けるため。

2. 概要

1) 日程: 2023年10月頃を予定

2) 場所: 都内貸し会議室

3) 内容

(1) サイエンスとアートとの融合についての基調講演(1件)

(2) 科学技術分野助成採択者事例発表(1件)

(3) 文化・芸術分野助成採択者事例発表(1件)

(4) 成果物の展示

4) 参加予定者

(1) 講演者、発表者(選考委員、事務局等で選定していく)

(2) 選考委員

(3) 理事・監事・評議員

(4) その他(原則: 採択者数名)

5) 予算

1, 217万円

IV. 目的達成のための関連業務(事業推進業務)

助成申請の内容を選考委員が選考するための業務 予算額 1,750万円

【事業費まとめ】

(単位:万円)

科学 技術	1. 一般研究助成	12,000
	2. インキュベンチャー助成	12,000
	3. 国際交流助成	1,000
	4. 特定課題研究助成	3,000
	小 計	28,000
文化・ 芸術	1. 調査・研究等への助成	5,000
	2. 交流助成	1,000
	3. 渡航・旅費等の助成	2,000
	4. 現代美術の翻訳助成	1,000
	5. 特定課題研究助成	500
	6. 新型コロナウイルス等特別助成	5,000
	小 計	14,500
科学技術、文化・芸術分野採択者合同交流会の開催		1,217
事業推進費		1,750
合 計		45,467

以上

